

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E113B009		幼児臨床指導論 (Methodology of Infant Teaching)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	2	3	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 向井 隆久 E-mail 内線 7557												
授業の概要	幼児教育の方法及び技術は、幼稚園教育において育みたい資質・能力を育成する上で必要なものである。本授業では、そのための幼児教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）に関する基礎的な視点を身につける。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 育みたい資質・能力を育成するための幼児教育の方法及び技術について説明できる。																		
目標2 幼稚園等における観察参加を通じて、幼児の生活と発達に即した保育計画の立案における視点について理解を深め、活用できる。																		
目標3 保育計画立案・実施並びに振り返りを通じて、教材研究の視点を身につけ実行できる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 幼児教育・保育の方法及び技術とは何か 保育者の専門性とその向上を図るために																		
2 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と教育課程 「生きる力」とカリキュラム・マネジメント																		
3 小学校教育を見通した保育過程の構想 幼稚園教育と「主体的・対話的で深い学び」																		
4 幼児教育・保育における遊び																		
5 幼児理解に基づいた評価																		
6 幼児教育・保育における情報機器（ICT）の活用																		
7 異年齢保育・特別支援保育																		
8 幼稚園での実践に学ぶ（1）幼稚園観察参加の視点																		
9 幼稚園での実践に学ぶ（2）幼稚園観察参加																		
10 幼稚園での実践に学ぶ（3）幼稚園観察参加（情報機器及び教材の活用を含む）																		
11 幼稚園での実践に学ぶ（4）観察参加の振り返りと教材研究																		
12 保育計画の立案と教材研究（1）幼児の発達と教材研究の視点（情報機器及び教材の活用を含む）																		
13 保育計画の立案と教材研究（2）保育計画の立案（情報機器及び教材の活用を含む）																		
14 保育計画の立案と教材研究（3）教材研究（教材づくりを含む）（情報機器及び教材の活用を含む）																		
15 保育計画の実施と振り返り（情報機器及び教材の活用を含む）																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	・観察参加や振り返りの授業においては、教員の「問い」に対し、自己ならびにグループで検討し、発表する機会を積極的に設ける。					工夫 その他	・グループ発表において、「質問タイム」を設定するなどして、グループ相互の交流を積極的に促す。										
	B:意見の表現・交換	・グループ活動で作成した保育計画や教材について、受講生同士で相互評価させる機会を設ける。																
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	・新聞記事や雑誌等を通じ、幼児の発達や特別に支援の必要な子どもの現状に関する情報に触れるようにする。（22.5h）																
	事後学修	・グループワークをきっかけにして、できるだけ多くの実践事例に触れるように努力する。（22.5h）																
教科書	特になし（教員作成のプリントを使用する）																	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省・厚生労働省・内閣府『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』チャイルド本社、2017年 文部科学省『幼稚園教育要領解説<平成30年3月>』フレーベル館、2018年 垂見直樹・池田竜介編著「幼児教育・保育のための教育方法論」ミネルヴァ書房、2021年 																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	学期末試験	40%																
	個別レポート	30%																
	グループ活動・発表への取り組み等	30%																
注意事項																		
備考																		
リンク	URL																	